

【樹木の部屋】

コエビソウ（キツネノマゴ科ジャスティシア属 *Justicia brandegeana*）

和名：コエビソウ(小海老草) **別名**：ベロペロネ

英名：shrimp plant、shrimp bush

シソ目 常緑低木

原産地：メキシコ

花言葉：機知に富む

花の色：赤、白、黄



← 写真-1 コエビソウ

撮影日：2004年06月03日

撮影場所：M邸

(大和郡山市)にて

撮影者：Mさん

我が家の庭に、10年以上前から咲いています。

花期は6月～10月。分枝した茎の先端に唇形花を咲かせます。唇形花とは、筒状になった花の先が上下に分かれ、唇のような形をした花のことです。花の下唇の内側には鮮やかな紫の斑点が多数あります。

名前の由来は、花のつく穂が苞(ほう)に覆われていて、その形が小海老

の尻尾に似ていることから名付けられたもので、花はその苞の間から顔を出します。

周年開花の性質が強い植物で、冬に暖かい場所で管理すればほぼ一年中咲き続けます。朱色の苞が重なったユニークな形がエビのように見えて美しい姿ですが、その間から出る白い花はあまり目立ちません。苞が黄色の‘イエロー・クイーン’や葉に斑が入った品種もあるそうです。

放任すると、上へ上へと伸びてしまうので、春に茎が伸びてきたら先端の芽を摘んでワキから芽を出させ、横にも広がりを出して草姿が整えます。

寒さで葉が落ちてしまった株は、株元近くまで切り戻します。別に切り戻しをしなくても春に芽を出しますが、茎の高い位置から芽を出してアンバランス

に茂ります。また、十分気温が上がってから芽を出すので、急いで作業をする必要はありません。